

本年度における肝炎ウイルスフォローアップに向けての取り組み

研究分担者：石上 雅敏 名古屋大学医学部附属病院 消化器内科

研究要旨：本研究班全体研究として院内でのウイルス陽性者follow up対策として新たに施設内でのHBV-ASC、HCV-SVR follow up率の調査が新たに加わった。分担研究員として、2012年1月から2014年12月までに当院初診となったHBV-ASCのfollow upの現状につき調査した。

A. 研究目的

本研究班では共通の検討事項として、
(1)協会けんぽ、組合けんぽでのウイルス検診促進、(2)職域肝炎ウイルス陽性者の推定、(3)自治体のウイルス検診・follow up実態調査、(4)施設内でのHBV-ASC、HCV-SVR follow up率、(5)院内非専門医陽性者のfollow up率、(6)新規リーフレットと効果検証、(7)簡単な診療情報提供書の水平展開、(8)特定非専門科へのアンケート調査、(9)肝がん症例への両立支援ツールの9つの目標設定をおこなっている。本班研究においては、新たにHBV-ASCのfollow up率調査に協力、当院での結果を記載してみる。

B. 研究方法

院内におけるfollow upの取り組みとして、的野研究員を中心としたHCV-SVR、HBV-ASCのfollow up状況把握のうち、HBV-ASCのfollow up状況につき、2012年から2014年までに当院肝臓外来に受診した患者4120名のうち、HBV陽性の初診患者199名をピックアップし、検討を行った。

C. 研究結果

今回指定のあった2012年1月1日から2014年12月31日までの間に4120名の患者が肝臓外来を受診、うち199名がHBV陽性の初診患者であった。うち、担癌患者、すでに核酸アナログ等の治療が開始されている患者を除く

と122名が対象となった。

3年後のfollow up率としては全体で47.24%、対象症例では48.0%と半数以下であった。また、Kaplan-Maier法で時間軸も含めて検討すると、全体；1年：79.8%、3年：69.6%、5年：65.5%、対象症例；1年：72.0%、3年：61.1%、5年：56.4%であった。

D. 考察

本検討においては、拠点病院である我々の施設においても3年後のfollow upが半分弱となかなかfollow upの継続が難しい群であることが浮き彫りになった。これは的野研究員のまとめの結果からも、他院でもほぼ同様な結果であることが明らかとなった。反面時間軸とともに検討してみると、Drop outが多いのが初期の1、2年であり、特にASC症例においては「肝機能も正常、症状もないのになぜ受診が必要？」を最初の時点でよく説明をし、動機付けをしっかりと行うことが大事であることが改めて認識された。HBV陽性患者の場合はASCから発癌する症例もあることはよくわかっている。「ひとつ」等の勧奨資材の利用、また通院困難者に対する病診連携の活用などこれらの群の医療からのDrop outを防ぐ方策が必要と考えられた。

E. 結論

本班研究においてHBV-ASCのfollow up率の検討に関わった。HBV-ASCは基本的には

無症状の患者が多く、受診、受療の継続に対しての動機付けが難しい群ではあるが、今回の当院での検討から最初 1、2 年の受診が継続できれば引き続き受診を継続する患者が多いことも明らかとなり、特に初診時における動機付けが大切であることが改めて認識された。

2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

F. 政策提言および実務活動

厚生労働科学研究費・肝炎等克服政策研究事業「職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究」(H29-R1)の分担研究者として研究活動を行い、その中の全体研究の一環として、HBV-ASC 患者の初診時からの follow up 率調査に協力した。肝疾患拠点病院である当院においても 3 年後の follow up 継続率が 50% 弱と高くはなく、これは他の協力施設も同様であることから、これら無症状の患者群に対する動機付けの困難さを明らかにした。

G. 研究発表

1. 発表論文

なし

2. 学会発表

1. Matono I, Isomoto H, Inoue T, Tanaka Y, Ishigami M, Suetsugu A, Enomoto M, Sato S, Sakai A, Hidaka I, Ogawa K, Inoue J, Kondo Y, Ide T, Kakizaki S, Kobayashi Y, Genda T, Korenaga M. Abstract No.961 Hepatology 70: 588A-588A, 2019

3. その他

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし